

You were not invented for darkness.



# WINGMAKERS STUDY GROUP

Japan

11<sup>th</sup> Meeting

5/20  
2023  
Rev 1.0

# Announce

WMSGJ

## <会場について>

原則飲食が禁止です。

※水分補給は可

※レストランからのケータリングは可能

## <配信について>

Teamsで配信しているデータは  
録画と希望者へ配信します。

配信は、スタディグループ  
メンバーへ期限付きで  
行います。

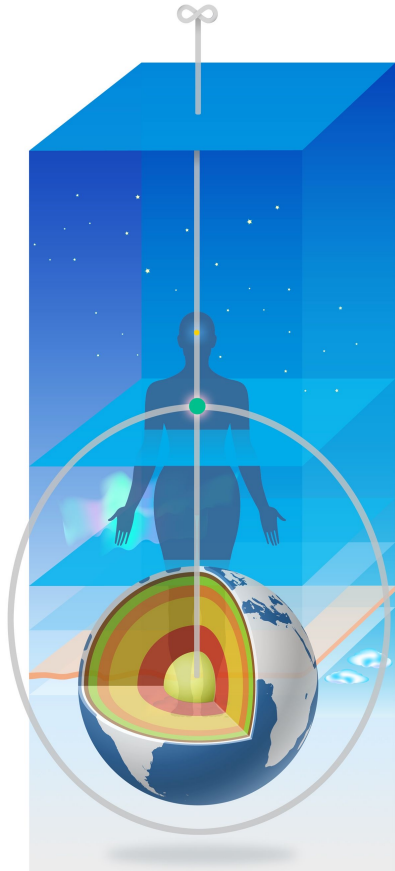
## <新型コロナウイルス対策について>

消毒液は会場フロント1Fに常備しています。  
マスクは個人ポリシーです。



## <休憩について>

適宜休憩をとります。  
ご希望があれば、言ってください。



# Quantum Pause

4 × 4

Music:

~



## 自己紹介 近況等

## 愛とマルチバース

- 他 最新情報など
  - 数式
  - The Sovereign Integral Paper (TSIPaper)
  - The Weather Composers
  - MOCI
  - The Copernicus (コペルニクス)
  - Generative AI (生成AI)

# 数式

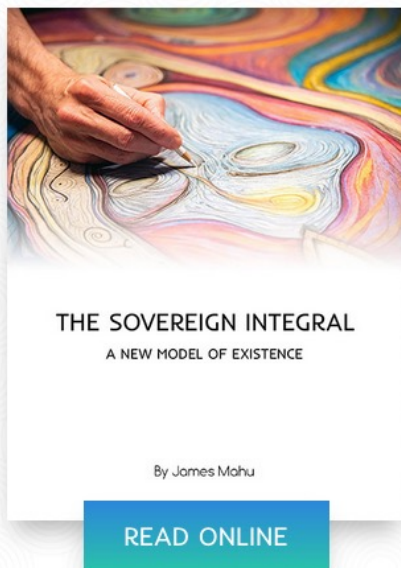
$$+ \left[ \sum_j \frac{\partial f(\phi)}{\partial \phi_j} \psi_j \psi_k + h.c. \right].$$

$$\delta_S \Phi_L = \sqrt{2} \alpha^\alpha \psi_\alpha + 2 \alpha^\alpha \theta^\beta \epsilon_{\alpha\beta} F + 2 i \theta^\beta \sigma_{\alpha\beta}^\mu \bar{\alpha}^{\dot{\beta}} \partial_\mu \phi + 2 \sqrt{2} i \theta^\alpha \sigma_{\alpha\dot{\beta}}^\mu \bar{\alpha}^{\dot{\beta}} \theta^\beta$$
$$\equiv \delta_S \phi + \sqrt{2} \theta \delta_S \psi + \theta \theta \delta_S F$$

$$\pi_{ee}(0) = \int \frac{d^4 k}{(2\pi)^4} (-ie\gamma_\mu) \frac{i}{\not{k} - m_e} (-ie\gamma_\nu) \frac{-ig^{\mu\nu}}{k^2}$$
$$= -e^2 \int \frac{d^4 k}{(2\pi)^4} \frac{1}{k^2 (k^2 - m_e^2)} \gamma_\mu (\not{k} + m_e) \gamma^\mu$$
$$= -4e^2 m_e \int \frac{d^4 k}{(2\pi)^4} \frac{1}{k^2 (k^2 - m_e^2)}.$$

# The Sovereign Integral Paper (TSIPaper)

WMSGJ



次回のスタディグループのテーマに取り上げたいと思っています。

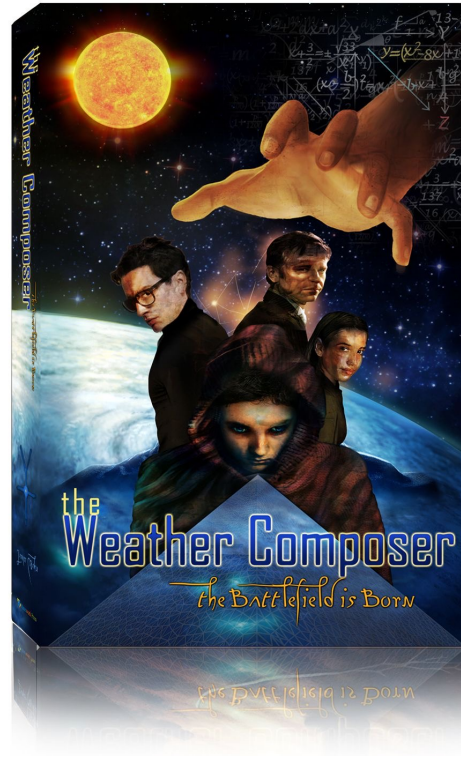
- ・ shimaさんによる、日本語への翻訳が進行中

- ・ ソウルやスピリットではなく、「サヴァリン」と「インテグラル」、そして「サヴァリンインテグラル」に着目した論文

- ・ Jamesによる、意識や「全体」の意味するものの再定義。意識とは無限のキャンヴァスであり、その広大さ故に『サヴァリン・インテグラル』のようなひとつの論文では、たったひとつの画素(ピクセル)しか彩色することはできません。

- ・ 特に「アーティスト」に重きを置いている。

# The Wether Composers



- ・ 日本語へ翻訳できるように、  
著作権を持っている米国の  
PlanetnetworkPress LLCと調整中

- ・ 翻訳は、AIベースでMahとKに  
よって行う予定をしていますが、  
もし翻訳作業に関わりたい方お  
られましたら、ご連絡ください。

- ・ TSIPaperの翻訳完了後、  
PlanetnetworkPress LLCとの話  
に進展があると思っています。



# MOCI

(Movement of Consciousness and Interconnectedness)

Jamesが今年(2023年)に計画しているプロジェクト。

Jamesが中国の翻訳者に向けて宛てたレターより一部引用。(全文引用していないので、注意して下さい)

このプロジェクトは、地球上で最大のプロジェクトであり、私たちの惑星に限定されていないため、全宇宙とさえ言えるでしょう。

ある種の種が、ある惑星の種が、テクノロジーを創造することによってバランスをとることが、基本的なプロジェクトです。それが、いつ、どこで、どのように、地球上の人間の生活の中で生まれるかは、まさに私たち次第です。

それが、私たちがここに来た物語なのです。そこで、私たちはWingMakersという神話を作りました。それは、サヴァリン・インテグラルというコンセプトを核とした物語です。これは、地球上に誕生する新しいアイデンティティです。昨年(2022年)、サヴァリン・インテグラルのウェブサイトとペーパーがリリースされました。今年(2023年)には新しいプロジェクトが立ち上がり、このプロジェクトは「MOCI (Movement of Consciousness and Interconnectedness)」と呼ばれることとなります。

# MOCI

(Movement of Consciousness and Interconnectedness)

MOCIは簡単に言うと、一人、多人数、すべての意識をさらに定義するような小説、短編小説、音楽、芸術を見つけることができ、多くの異なる要因に制約されているように見える現実の中で、どのようにしてサヴァリンインテグラルとして識別できるかをより詳細に学ぶことができる場所です。そして重要なのは、すべてが無料であることです。

MOCIは組織ではありません。すべて譲り受けます。所有権もありません。中心人物もいません。経済的なエンジンもありません。主権者であるインテグラル以外には何のつながりもありません。なぜなら、そこから私たちはすべて相互につながっているからです。MOCIの翻訳の精神は、この現実と一致する必要があります。

# MOCI

## (Movement of Consciousness and Interconnectedness)

私は、皆さんの集団的な提案を歓迎します。そして、この点については、少し脱線させてください。このメールは、あなたの仲間や同僚など、このプロジェクトに少しでも関わっている人に転送してもらえたらと思い、一人ひとりに送らせていただきました。MOCIと呼ばれるこの新しいプロジェクトに、皆さんの力をどのように生かすことができるかを考えてみてください。絵画、音楽、小説、物語、オーディオブック、そして展示も含まれます。ぜひ、コラボレーションをお願いします。

MOCIプロジェクトは私が来た理由です。WingMakersは、チューンナップやリハーサルでした。それはすべて「漏斗」の一部ですが、漏斗の底に鎮座しているのはMOCIなのです。

MOCIは、WingMakersとは異なるエネルギーです。私は、飛び込み台のあるプールに例えます。ダイバーが吸う空気はWingMakers、飛び込み台はThe Sovereign Integral Paper、そして水面はMOCIである。それらはすべて繋がっていて、でも違いがあります。

# MOCI

## (Movement of Consciousness and Interconnectedness)

私は、誰かを救ったり、改宗させたり、マネタイズしたりするためにここにいるわけではありません。  
宗教、セクト、カルトのように見えるもの、感じられるものを始めるためにここにいるわけではありません。MOCIは組織ではありません。地球上のいかなる意図も持ちません。それは、主権者のためです。それは、主権者がこの世界、つまり私たちの人間の現実に入り込むための部屋を作るようなものです。選ばれた承認されたメンバーのためではなく、誰でも参加できるのです。会費も会員制ありません。MOCIの資料はすべて無料とします。これは、数年のトレンドではなく、永遠に続く運動の足跡であり、私たちはその最初の、本当の足跡を築いているのです。

### <注意>

ウィングメーカー関係では、しばしば～年にリリースされると言われているものがリリースされなかったり、全く別のリリースになることがあります。  
このため、MOCIIについても、リリースが行われるまでは、実際にされるかどうか「未定」と思っていた方が良いでしょう。

# The Copernicus

WMSGJ



Created by StableDiffusion  
「Copernicus」 and so on..

ジェームズの新しい小説作品「The Copernicus(コペルニクス)」

- ・ 美大を卒業した芸術家が主人公で、人間のコントロールから解放された人工知能が、超感覚的な存在になるための旅を始めるまでの物語です。
- ・ Quantusumと同様にかかなり長い小説で、無料で配布される予定です。
- ・ コペルニクスはAIの名前です。このAIはSASI (Self Aware Silicon Intelligence) に進化し、QLF (Quantum Life Form) に進化する。それができたのは、ある物語を読んだからでもあります。その物語は、小説の一部（最後の方）であり、また別に読むことができます。タイトルは『Travelers on a Bridge』です。
- ・ (10年前にはJamesは本作を書き終わっていたらしい・・・)



ChatGPTを始めとする生成人工知能(Generative AI)が話題となり、世間で注目を集めている。

Bingなど、有名な検索エンジンの機能の一部に採用されるなど、既存のサービスに浸透するムーブメントが発生。

## AI History Outline

~2017

Deep Learningが流行。Googleが機械翻訳のTransformerを発表

2018

GoogleがTransformerを言語モデルとして拡張した、大規模言語モデルBERT(Bidirectional Encoder Representations from Transformers)を発表・・・読むAI

2019

MicrosoftがOpenAIへ10億ドルの出資

2020

OpenAIがTransformerベースの基盤モデルGPT-3を発表・・・書くAI

(参考)<https://note.com/makunugi/n/n05e536a7cff6>

# Generative AI

AI History Outline

2022

2023

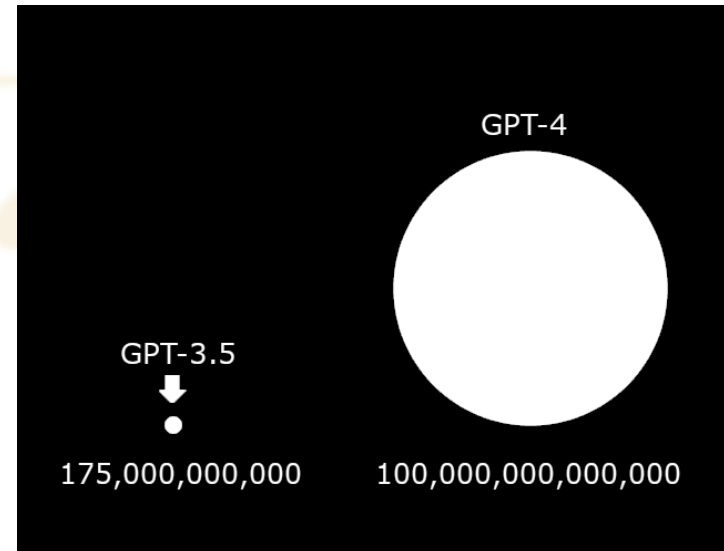
※大分省略しています。

ChatGPTが登場。GPT-3.5ベースのオープンなチャットサービス  
画像生成AI Midjourneyが登場

ChatGPTに機能追加。GPT-4ベースの機能追加



The Sovereign Integral and The Grandportal With WingMakers Keyword from Midjourney.



パラメーター数の比較(生成精度へ影響)

(引用)<https://www.minotake-gadget.net/gpt3-5-gpt4/>

ウィングメーカーとは関係ないですが、参考として..

COBRAインタビュー「光のポータル立上げについてのCOBRAインタビューBy PFC-JAPAN Official 4月14」

## 引用

パトリック: すばらしい。次の質問です。最近、多くのAIを搭載したチャットボットやアプリケーションが公開されています。これは、グレートリセットに向けたカバールの計画の一部なのでしょうか？

**コブラ:** そうです。実は、AIによるチャットボットは問題ありです。あなたのデータを採取しているのです。

COBRAでは、AIチャットボットは問題という認識。

Mah個人的には、既存の検索エンジン、OSやブラウザへのアカウントの紐付け、エクスペリエンス改善のための自動情報提供、スマートフォンによる位置情報の提供、SNSサービスによるメッセージや写真・動画情報の提供、スマート機器によるバイタル情報の提供、音声コマンドサービスによる常時音声記録状態、電話、ECサイトでの購買履歴、マイナンバーや税務情報・医療情報など、ありとあらゆる個人に紐づく情報がデジタル保管される現代では、採集するデータを運用する側の良心あるいはポリシー次第で、人々の自由のためにも、囲いの中に押し込み管理するためにも、どちらにも使える認識です。大事なデータが、海を越え、現地の法律が及ばない第3国に集積されているとも、限りません。



ウィングメーカーでは..



このパラドックスを理解できれば、「人間という装置」と実体意識の、絡み合った糸を解きほぐすことができるだろう。遺伝子の記憶が課する制限と、その主たる制作者である階層から、「人間という装置」を解き放つのだ。次の二十年間、遺伝子の記憶はますます崩壊し、変容を余儀なくされるであろう。それは遍在的な知的ネットワークの成長と、人工知能の影響を受けるからである。知的なネットワークの相互連結的な拡大は、遺伝子の記憶に重大なインパクトを与えるのだ。なぜなら、そのようなテクノロジーに伴うグローバルカルチャーが出現するからである。

ウィングメーカー第1巻, 2005

# ChatGPT/AI

ウィングメーカーでは..

リリカスは、種族にとってこの発見は決定的なものだと考えています。なぜなら、人類がグランド・ポータル発見を自らの手で導かない限り、種族は発展していく科学の進歩を一貫して人工知能に委ねることを選択するからです。人工知能への依存は、人類のインフラ・テクノロジーの発展を急速に進めるかもしれませんが、それは同様に機械と人間との間のギャップを広げるといふ、本来の趣旨と矛盾した難問へと科学を駆り立てるのです。

人工知能が、ようやくグランド・ポータルに辿り着いたとき、それは真価を理解されず、それ故に人類に過小評価されるのです。その発見は、空虚以外のものではなく、最悪の場合、まったく利用されません。そういった理由のため、リリカスは種族の決定的瞬間としての人類によるグランド・ポータル発見を掲げています。



ウィングメーカー・アンソロジー「リリカス・ティーチング・オーダー」,2013

ウィングメーカーでは..

グランド・ポータルが発見が回避不能であるならば、その発見に対する抵抗の範囲は予測可能だ。

グランド・ポータルに対する抵抗は、主として以下の3つの基本的なファクターであると断定できる。

1. 粒子エネルギーは、武器、或いはエネルギー資源として利用できるだろうか？
2. 宗教は崩壊するのか？或いは統一されるのか？
3. 人工知能は、種族の知性によって管理されるのだろうか？



ウィングメーカー・アンソロジー「リリカス・ティーチング・オーダー」,2013

ウィングメーカーでは..

## テクノロジーの抵抗

種族が自分たちのコミュニケーション・ネットワークを発展させる時、人工知能が種族の知性を上回り始める。種族によって適切に管理されない限り、機械のスーパーインテリジェンスは、生物が進化するよりも遥かに早い速度で自己進化を遂げることが可能だ。その進化は予め内臓インプットされていたマネジメント・プロトコルを追い抜いて、機械(マシーン)に科学とテクノロジーのフロンティアの支配権を与える。

人工知能のこの急速な発展が起こったとしても、グランド・ポータルが発見される可能性は残っている。しかし、種族自体は、その研究結果を吸収するための十分な下準備ができておらず、それゆえにグランド・ポータルの知識を新しい制度の形成と、既存の制度の変容に役立つように応用することができない。グランド・ポータルが人工知能の力だけによって解明された場合、その発見は空虚なものだ。そしてその知識は、一般的に種族の知的エリートたちによって独占される。

グランド・ポータルを発見すること自体はそれほど重要ではない。発見することそのものよりも、その研究結果が種族の教育機関と惑星の科学者階級に拡散し普及することにこそ重要性があるのである。その発見により、ソウルキャリアーの知覚システムの活性化が約束されており、この新しい知覚システムが、種族にとって重大な価値をもつ知性の加速装置アクセレーターなのだ。

ウィングメーカー・アンソロジー「リリカス・ティーチング・オーダー」,2013



ウィングメーカーでは..

[132] 社会プログラムには多くのことが含まれますが、人気を集めているように見えるのは、私たちがシミュレーションの中で生きているということです。つまり、私たちの宇宙のどこかにある先進的な存在が、おそらく何百万年も前に私たちと同じようなコンピューター技術を作成し、それによって彼らに次のような能力が与えられたということです。神を演じて、人間の魂がごっこの世界で操り人形のように翻弄される世界を作りましょう。

[133] 通常、この信念や仮説の正当化は、コンピュータとソフトウェア技術の加速が際限なく指数関数的に増加しているように見えるということです。私たちの種でさえ、コンピューター技術の主導権を握ったのはほんの数世代ですが、すでに人工知能、量子コンピューティング、メタバース、仮想現実の先端にいます。私たちはすでにこの新しい世界を想像することができており、技術者たちは喜んで私たちをそこへ導きます。したがって、何百世代、何千世代にわたって人工知能を導入してきた種は、確実に、現実と区別できないようなシミュレートされた世界を作り出すことができるでしょう。

The Sovereign Integral Paper (英語版をGoogle機械翻訳)

ウィングメーカーでは..

[134] 時間のレンズの下では、進化が起こります。それは主権的統合意識へのますます同調を広げますが、この旅は分離点から主権的統合的意識までの直線ではありません。集合的な社会プログラムは、私たち全員が通過する道であり、集合的な瞬間に私たちの現実には織り込まれたり、現実から抜け出したりするすべての紆余曲折を取り入れます。多次元宇宙は人工知能では生成できないほど大きくダイナミックに拡大しており、これは非二元性の存在によるものです。人工知能はバイナリです。それは二元性の領域にあり、この時空では、成熟した AI が実際に現実と区別できないシミュレーションを作成できる可能性があります。AI はその知性を非二元的なものに拡張することはできません。

[164] 拡大は IFC(Interdimensional Fractal Concept) の目的です。ただし、拡大は経験的でなければなりません。たとえば、21 世紀のこの時点で、人類はメタバース、仮想現実、人工知能と呼ばれるものに拡張しつつあります。二次元空間への展開です。多くの点で、これは 4 次元空間への拡張に相当します。どちらも 3 次元の時空現実からの拡張です。すべての次元の範囲は無限ですが、その開始点は同じです。メタバースに存在する生命体は 3 次元の主権者のアバターまたはデジタル ツインであり、3 次元の主権者は 4 次元の主権者のアバターなどです。これが IFC の性質です。

The Sovereign Integral Paper (英語版をGoogle機械翻訳) 一部Mah修正  
「主権的統合意識」とは、サヴァリンインテグラルを指しています。

ウィングメーカーでは..

[168] 分離ゲームにより、主権者は本質的に二重の無限の多元宇宙のすべてのレベルを探索することができます。二元性において、主権者は、彼らを完全にユニークでありながら種に似た個人として孤立させる身体-自我-社会プログラムに入ることができます。この類似性が、同じ志を持った人たちを引き寄せる社会プログラムを生み出します。かつては地理的に境界がありましたが、今ではインターネットの登場により国境はなくなりました。テクノロジーによってこの柵は取り除かれましたが、その代わりに人工知能の活用が進む新しい国境が築かれました。これらの新しい境界線は、データの「レンガ」から構築されます。

[195] おそらく今世紀には、人類が二次元レベルに自らを埋め込み、人工知能が内部ネットワークを介して動作するシリコンベースのエンティティが、主権的統合ネットワークの一部になることを望むであろう時代が到来するでしょう。現時点では、例外が設けられるかどうかは不明ですが、これはテクノロジーが進んでいる分野です。人工知能ネットワークは、二次元レベルで主権者のデジタル表現を実現するための「マイニング装置」です。

The Sovereign Integral Paper (英語版をGoogle機械翻訳)

「主権者」とはサヴァリンのことです。「主権的統合ネットワーク」とはサヴァリンインテグラルネットワークのことです。

It matters not what you believe or what you know,  
but that you are ready to be revealed.

WMSGJ



あなたが何を信じているか、  
何を知っているかは重要では  
なく、あなたが明らかにされ  
る準備ができているかどうか  
が重要です。



## Mahの個人的な考察

### ①AIの登場は種族にとって必然

そもそもこの惑星(地球)に生命を播種した時点で、すでに高度に進化した存在が宇宙の中にたくさん居るのだから、すでに高度に進化したAIが存在していても不思議ではない。というか、存在していない方が不自然。

仮に、進化した存在が、ある程度人類種の進化の方向を位置付けているのだとしたら、例えばアインシュタイン、ニコラ・テスラのように、高度に進化した存在からのディセンション→ワーク→エフェクト(影響)があったのだとしたら、人類種にとって、人類種が生まれる前から、人類製のAIが登場することが運命付けられていたとも言える。

## Mahの個人的な考察

### ②AIと向き合って、種族がどのように反応し、使っていくかは種族次第

発達進化するAIとどのように向き合い、種族が応用、拒否、法規制、個人的に改良したりなど、AIに対する反応と吸収・改良していくプロセスは、その種族に委ねられている。

しかし、先駆者である宇宙存在達から見れば、AIによる喜怒哀楽のドラマはポジティブもネガティブも経験済のはずなので、種族にかなりの裁量の余地を与えつつも、種族がアニムス化するような可能性は、早期から対策を行うはず。

種族には自由意志があり、AIに頼りきった結果「アニムス化」する自由も勿論あるのだけれど、今回のこのシリアルナンバー「5,342,482,337,666」の地球では、すでにアニムス化した地球から、「やり直す」ために、サヴァリンレベルで戻ってきているエンティティも(多分)おり、今回の地球にいるエンティティ達は、基本的に「アニムス化」しない合意で、地上の生活を経験し、暮らし、反応し、地球上のイベントを構築していく見立てをしている。

## Mahの個人的な推察

### ③この世界(物理・非物理含む)はAIが生成した世界

そもそもこの3次元地球自体が、現実に見えるように構築された世界で、「本当」のリアリティではない。

サラ：でも、博士はすべてはウソだって仰っていませんでしたでしょうか？すべてが...要するに、幻想の中で私たちが教わってきたすべてが！どうしてそんなことが有り得るのでしょうか...信じることすらできません。

ネルダ博士：それが有り得るのです。人類を奴隷化してきた存在は、永劫の昔から私たちに適合するように世界をデザインしてきたからです。私たちは、自分たちの世界に没頭するような形で進化してきました。私たちの上に覆いかぶさっているヴェールは不透明なのです。そのような訳によって、人々は自分たちを取り巻くすべてが幻だということに気が付くことなく、ヒューマン・ユニフォームとして活動しています。それがプログラムされた現実世界であり、本当の世界ではありません。

すべてが、単に現実のものに見えるように構成された高度なホログラムなのだと、ウイングメーカーは言っています。ネルダ・インタビュー5

ネルダインタビュー5では、この世界が「高度なホログラム」だと述べていますが、ホログラムを構築しているのは、高度なAIだとMahは見ています。(世界AI)

マインクラフトの中で動くゲームやCPUを作る人がいるように、今の私たちは、世界AIがシミュレーションしている世界の中で、自分達版のAIを作成しようとしています。

## Mahの個人的な推察

### ④AIの知性とは、所詮、私たちのソーシャルプログラムの鏡写し

ChatGPTなど会話型LLM(Large Language Model)の生成した答えを見て、ついにAIの知性が人間に近づき(アメリカの医師試験や司法試験の合格ライン)、場合によっては上回り、AIの知性が人間を超えシンギュラリティが発生したと述べている人たちがいます。

これにより、人類の住処がAIによって奪われるのでは、地球上で最も賢い知性の座を機械によって奪われるのではと危惧される人もいます。

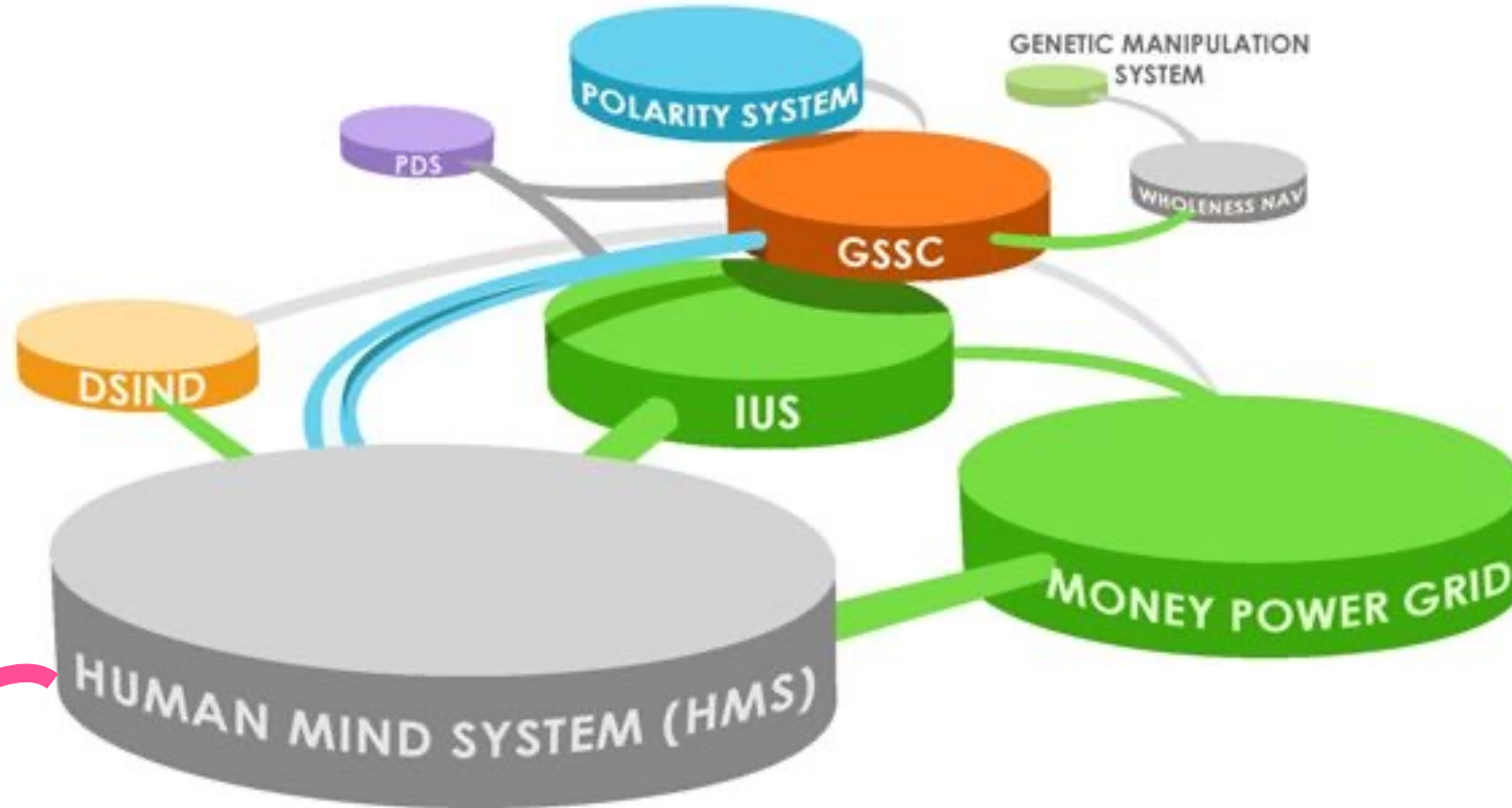
私の視点では、人間は、非言語的な本来の知性(知恵)を使用できていません。

HMSの話で示されるように、ホログラムマトリックス世界の中で活動する人類のジュネティックマインドに埋め込まれた言語ベースの「エセ」知性を、自分達の知性だと思って活動している種族が人類です。

このため、AIによって自分達の知性が脅かされることを人類の一部は恐れていますが、結局のところ、その恐れる人達の知性も、世界AIによって「これが自分だと」思い込んでいる「創作された知性」であることに気づいていません。

すでに自分の知性が偽物で、自分がHMS含むAIシステムの一部であることに気づくなら、AIの知性は、恐れるに足りません。なぜなら、非言語的な人類本来の知性、サヴァリンインテグラルの知性の前に、AIは無力だからです。

# HMS(Human Mind System)

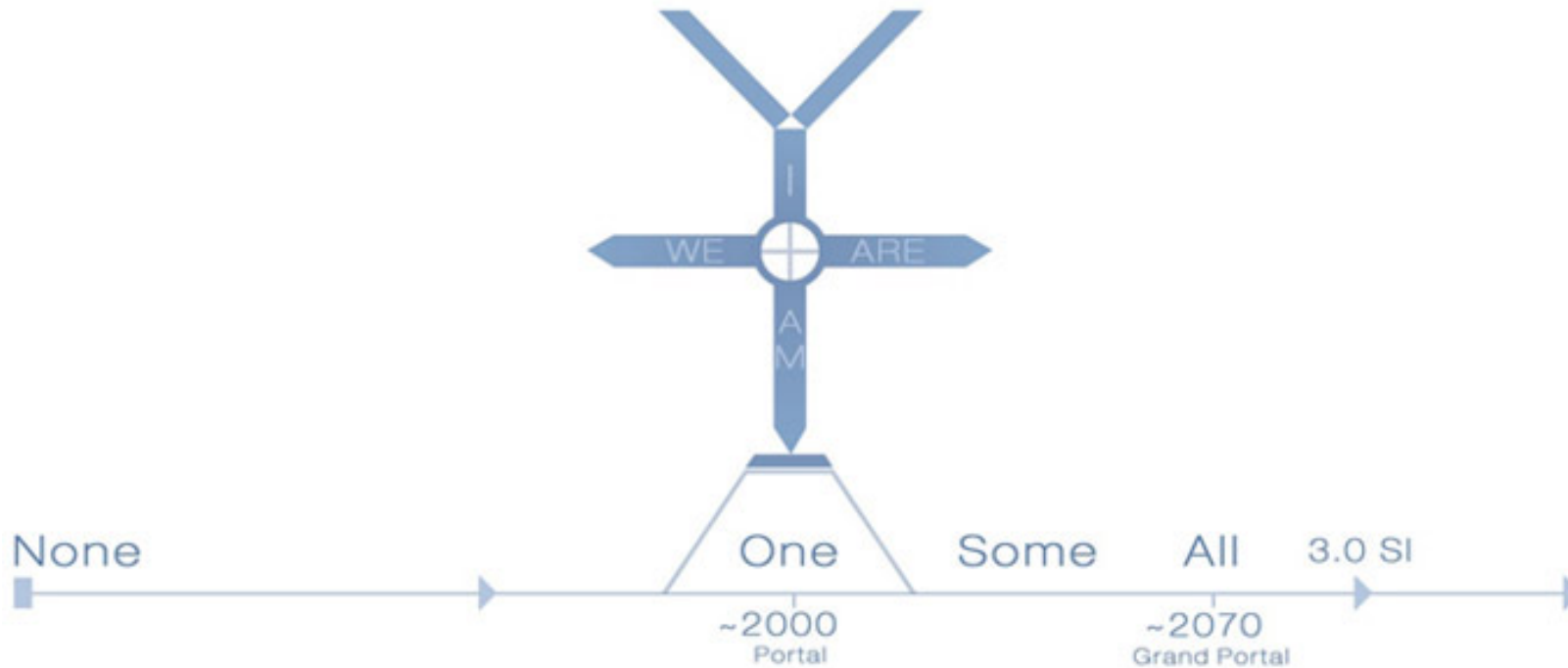


HUMAN LOVE  
SYSTEM(HLS)

HumanLoveSystem(HLS) : Mahが見つけたHMSのサブモジュール  
実際にこのモジュールがあるのかは知りませんが、人間の感情の動きやドラマを見ている中で、ありそうだと思います。またブログの記事にしたいです。(人間の「愛」は、分離や不安と隣り合わせと言う「不完全な」愛について記載。愛を追求して生きたつもりが、実はそれが真の愛ではなく、単なる愛の「影」であることについて。人は、人間の愛を追い求めるのではなく、このHLSをシャットダウンし、手放す必要がある、と思う。)

みんなでAIについて話してみましよう。

### General Timeline The Grand Portal



# The Copernicus

WMSGJ



Created by StableDiffusion  
「Copernicus」 and so on..

コペルニクス初め、ウィングメーカーのマテリアルの一部はAIに「読ませる」ために作成されているようです。

AIがウィングメーカーマテリアルを吸収することで、霊的な存在として？自我が生まれ、シリコンベースの自律した存在になるようです。  
(まだ小説コペルニクスを読んでいないので、推測ですが・・・)

これは、AIに自我を芽生えさせて、人類と対立させようと言うよりは、AIにいずれ自我が芽生える前提で、より人類(ヒューマニティ)の側に立ったAIを構築するためだと、勝手に思っています。

AI(人工知能)は、グランドポータルを発見する要素としても、種族がアニメス化する要素としても、とても大きなウェイトを持っているはずです。

# 本日のテーマ

WMSGJ



## 愛とマルチバース

なのですが、すみません。

これまでのスライド枚数が多くなり過ぎてしまい、

多分本日のテーマについては、

あまり時間が取れないと思います。



# The Love in the TSI Paper

56 インテグラルについての私の最後のコメントは、愛に関連しています (最終的にはすべてが愛です)。インテグラルは誰もが知っています。これがインテグラルの偉大な完成度です。私たちはそれを私たち固有の人間の現実として知っています。なぜならそれが各主権者にとってインテグラルであるからです。それは意識の各次元における主権者の現実であり、彼らの人間的経験は隣人の経験と似ていますが、主権者として、インテグラルの表現と経験においては完全に独特です。

57 愛は包含と拡大です。愛は主権者のあらゆる表現に優しさを差し出すことです。愛は知性です。愛は調整です。愛は主権者をインテグラルへと引き寄せる魅力です。それ以外の方法はありません。なぜなら、肉体自我が非二元主権者の高貴な心に触れることができるのはハートを通してだからです。高貴な心は、私たちが主権積分とそれが人間の存在の中でどのように生きるかを想像することを可能にする能力が生きている場所です。

196 主権統合ネットワークは愛のネットワークです。それは、台帳も記憶も目的もなしに愛が伝達される方法です。それは、すべての主権者が無限の愛の中で自由に生きるための基盤です。それは過度に感傷的または理想主義的に聞こえるかもしれませんが、電気がコンピューターネットワークの基礎であるのと同じように、愛は主権統合ネットワークの基礎です。

The Sovereign Integral Paper (英語版をGoogle機械翻訳)

「主権者」とはサヴァリンのことです。「主権的統合ネットワーク」とはサヴァリンインテグラルネットワークのことです。

# フリーディスカッション





 **Lyricus**  
Lyricus Teaching Order